

北薩感染症情報

2026年第3週(1月12日～1月18日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中

○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報 レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開 始 基準値	終 息 基準値	基準値	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定 点 報告数	前 週 からの 増 減	警 報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定 点 報告数	前 週 からの 増 減	警 報 注意報
		定 点 報 告 数												
急性呼吸器感 染症(ARI) 定 点	急性呼吸器感染症	—	—	—	189	246	82.00	↗	—	121	109	54.50	↓	—
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	104	75	25.00	↓	⊙	58	35	17.50	↓	⊙
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	—	—	1	0.33	↗	—	1	—	—	↓	—
小児科定 点	RS	—	—	—	2	22	11.00	↗	—	1	—	—	↓	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	6	2	1.00	↓	⊙	—	—	—	→	—
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	2	7	3.50	↗	—	8	2	2.00	↓	—
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	13	13	6.50	→	—	7	7	7.00	→	—
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	3	1.50	↗	○	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	3	2	1.00	↓	⊙	9	3	3.00	↓	⊙
	突発性発疹	—	—	—	1	1	0.50	→	—	—	—	—	→	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
眼科定 点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	／	／	／	／	／
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	3	8	8.00	↗	—	／	／	／	／	／
基幹定 点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		—	—	—	—	—	／	→	—	7	2	／	↓	—
指定医療機関からの COVID-19入院報告		—	—	—	—	—	／	→	—	—	—	／	→	—
報 告 数 合 計		—	—	—	323	380	／	↗	／	212	158	／	↓	／

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 伝染性紅斑, インフルエンザ, 咽頭結膜熱(警報レベル) 水痘(注意報レベル)
・出水保健所管内 伝染性紅斑, インフルエンザ(警報レベル)

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 なし
・出水保健所管内 結核1件

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
・出水保健所管内 学年閉鎖:長島町1件 学級閉鎖:出水市1件

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

 警報発令中  注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				46W	47W	48W	49W	50W	51W	52W	1W	2W	3W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	74.33	84.67	85.33	122.33	155.33	105.00	102.33	29.33	63.00	82.00
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	26.67	23.67	41.00	120.00	173.33	101.33	63.33	15.33	34.67	25.00
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	4.00	2.67	2.33	1.00	1.00	—	—	0.33	—	0.33
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	4.50	4.00	1.50	1.50	2.50	4.50	0.50	1.00	11.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.50	2.00	0.50	1.00	0.50	0.50	0.50	—	3.00	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	3.00	1.50	0.50	3.00	0.50	1.50	3.00	—	1.00	3.50
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	4.00	3.50	4.50	3.00	4.50	1.00	4.50	—	6.50	6.50
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—	1.50
	手足口病	5.00/2.00	—	—	0.50	—	—	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	5.00	5.50	4.50	8.00	5.50	1.50	3.00	1.00	1.50	1.00
	突発性発疹	—	—	1.00	1.00	—	0.50	—	—	—	—	0.50	0.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	2.00	2.00	1.00	2.00	3.00	9.00	3.00	—	3.00	8.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

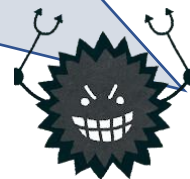
定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				46W	47W	48W	49W	50W	51W	52W	1W	2W	3W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	57.50	63.50	60.00	85.00	84.00	118.00	68.00	33.50	60.50	54.50
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	2.00	5.50	18.50	35.50	53.00	77.50	37.00	20.00	29.00	17.50
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	1.00	0.50	1.50	—	—	1.50	1.00	0.50	0.50	—
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	4.00	2.00	1.00	—	3.00	4.00	4.00	1.00	1.00	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	—	—	—	3.00	—	—	—	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	5.00	4.00	5.00	10.00	2.00	7.00	1.00	8.00	2.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	—	—	3.00	1.00	—	—	—	2.00	7.00	7.00
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	1.00	5.00	3.00	5.00	3.00	1.00	9.00	3.00
	突発性発疹	—	—	—	—	2.00	—	—	1.00	—	—	—	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第3週は、川薩保健所、出水保健所管内で伝染性紅斑、インフルエンザの警報レベルが継続中です。また、川薩保健所管内では、咽頭結膜熱の警報及び水痘の注意報も発令中です。

手指消毒用アルコールは、インフルエンザ、水痘・带状疱疹ウイルスには効果的ですが、伝染性紅斑と咽頭結膜熱の病原体には効果が低いため、石鹸と流水による手洗いを行いましょう。

川薩保健所及び出水保健所管内で
インフルエンザの流行発生警報が継続して
発令されています。

インフルエンザとは



インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。子どもではまれに急性脳症を、高齢者の方や免疫力の低下している方では細菌による肺炎を伴う等、重症になることがあります。

予防について

①流行前のワクチン接種

②外出後の手洗い等

→流水・石鹸による物理的除去

アルコール製剤による手指衛生

③適度な湿度の保持

→空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。適切な湿度(50%～60%)を保つことも効果的です。

④十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

⑤人混みや繁華街への外出を控える

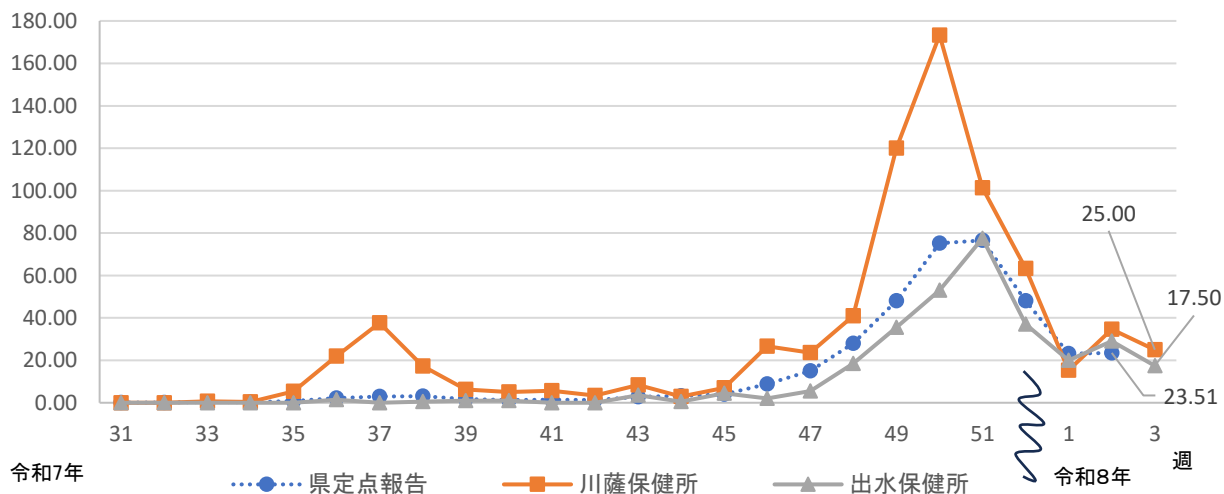
⑥室内ではこまめに換気をする

→対角線上にあるドアや窓を2か所開放すると効果的です。



定点あたり報告数(人/定点)

参考: 感染症発生動向調査システム(31週～R8.3週)



川薩保健所管内で咽頭結膜熱の
流行発生警報が発令されています。

・飛沫感染
・接触感染

咽頭結膜熱(プール熱)とは

咽頭結膜熱はアデノウイルスを病原体とする感染症です。主な感染経路は飛沫感染や接触感染です。

アデノウイルス自体は年間を通じて報告されていますが、咽頭結膜熱としては特に夏期(6月から8月)に流行がみられ、5歳以下の小児で多く報告されています。

症状

潜伏期間は5日から7日程度であり、発熱、頭痛、全身倦怠感とともに咽頭痛、結膜充血などを主症状とします。新生児では全身性感染を起こし、重症化することがあります。

予防法

患者との密接な接触を避け、流行時にうがいや手洗いを行いましょう。消毒用アルコールの効果は弱いことが知られています。

法的位置づけ

感染症法では五類感染症の定点把握対象疾患に定められています。

学校保健安全法では第二種感染症に定められており、主要症状が消退した後2日を経過するまで出席停止とされています。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。



『プール熱』の由来

かつてはプール利用時の接触やタオルの貸し借り等で流行することがあったため、この病名がつけました。

※現在はタオル共用の減少等の理由より、プール利用における集団感染の報告は見られなくなっています。

参考資料

咽頭結膜熱 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト
咽頭結膜熱 | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

川薩保健所管内にて水痘の
流行発生注意報が発令されました！

- ・空気感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染

水痘とは...？

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘带状疱疹ウイルスというウイルスによって、引き起こされるかゆみを伴う発疹が全身に出現する感染症です。水痘は主に小児の病気で、9歳以下での発症が90%以上を占めると言われています。小児における重症化は、熱性痙攣、肺炎、気管支炎等の合併症によるものです。成人での水痘も稀にみられますが、成人が発症した場合、水痘そのものが重症化するリスクが高いと言われています。

水痘ワクチンは1回の接種により
重症の水痘をほぼ100%予防でき、
2回目の接種により軽症の水痘も含めて
その発症を予防できると考えられています。



空気感染、飛沫感染、接触感染により広がります。
家庭のほか、学校などの施設内でも感染の
伝播がみられます。感染してから発症までの潜
伏期間は長く、2週間程度くらいとされています。

家庭内における感染対策

家庭内接触での発症率は90%と報告されており、家庭内での感染を防ぐために水疱に触れた後の確実な手洗いやタオルの共有を避けるといったことも予防対策になります。

学校保健安全法における取り扱い

第2種の感染症に定められており、すべての発疹が痂皮化するまで出席停止とされています。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

RSウイルス感染症の報告が増えています。



RSウイルス感染症について

RSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。RSウイルスは年齢を問わず何度も感染を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後6ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。

症状について

潜伏期は2～8日とされ、発熱、鼻汁、咳などの上気道炎症状が数日続きその後、場合によっては、気管支炎や肺炎などの下気道症状が出てきます。初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴や呼吸困難、さらに気管支炎の症状が増加します。

慢性呼吸器疾患等の基礎疾患のある高齢者や免疫不全者では、重症化するリスクがあることが知られており、注意が必要です。



感染経路について

RSウイルスに感染した人の咳やくしゃみなどによる飛まつ感染と、ウイルスの付着した手指や物などを介した接触感染といわれています。



予防・対策について

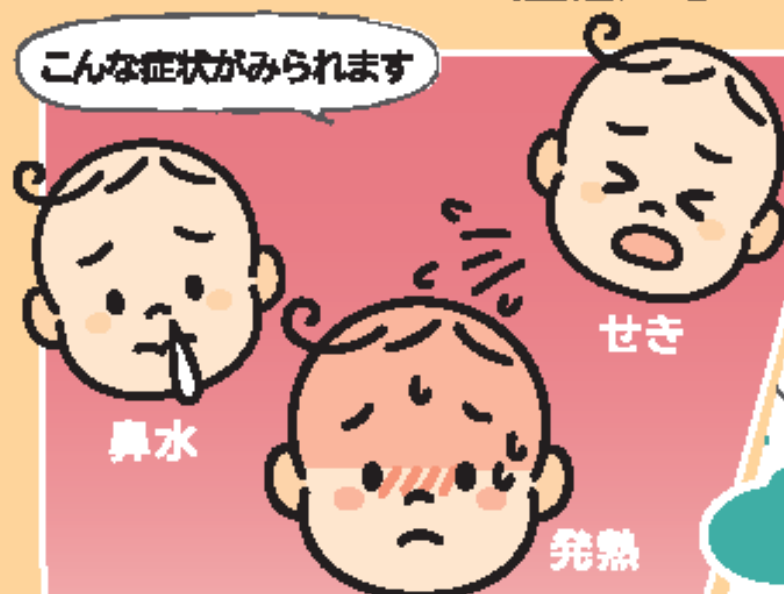
日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤などで消毒し、流水・石鹸による手洗い、またはアルコール製剤による手指衛生を行うことが重要です。また、鼻汁、咳などの呼吸器症状がある場合はマスクを使用することや、手洗いや手指衛生といった基本的な対策の徹底を行うことが大切です。



RSウイルス感染症

に注意しましょう

こんな症状がみられます



流行時期

初夏ごろから継続して増加し、夏にピークになります。

感染経路

飛まつ

接触

2歳までにほぼ全員が、少なくとも一度は感染します。

かぜのような症状が数日続き、多くは軽症で回復しますが、重症化した場合は、**細気管支炎、肺炎**などを起こします。

生後6ヵ月以内の新生児・乳児への感染や、低出生体重児、心臓・肺・神経・筋肉などに基礎疾患がある場合や免疫不全がある場合などには重症化の可能性があります。

こんな時は

機嫌がよく、つらそうでなければ、あわてずに様子を見て、かかりつけ医にご相談ください。**呼吸が苦しそう、食事や水分摂取ができない時は医療機関への受診**をご検討ください。

受診を要した場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急」などのWebサイトを確認したり、**38000(こども医療情報局)**にご確認ください。



こどもの救急

予防

水と石けんでの手洗い



手やおもちゃなどのアルコール消毒

症状がある時は可能な範囲でマスク着用



こどもも感染症から守るために、家族や周囲のおとももしっかりと予防しましょう。

生まれてくる子の予防を目的に妊婦に接種するワクチンが薬事承認されています。詳細については、医師にご相談ください。また、高齢者が感染すると重症化することがありますので注意してください。

詳しくは、RSウイルス感染症Q&Aをご覧ください

 厚生労働省

感染症対策課 2025年9月作成

